

梅光学院中学校・高等学校 スクールポリシー

Mission, Vision, School Policy, Action Plan

(BAIKO VISION for 2030 準拠)

1. Mission(ミッション)

「強くしなやかな精神と、新しい世界を切り拓く能力を、他者のために用いることのできる人間を育てる」

2. Vision(ビジョン)

「自らと人を愛するために、課題を発見する。一人で、あるいは他者と共にその課題を探究する。他者と共にその課題の克服に取り組む。その結果、さらに愛を深める人となる。」

私たちは「神を知り、自らと隣人とを愛する喜び」を共有し、生徒と教職員とに以下の「態度」と「力」を身につけるよう導きます

- ・ 「隣人とは誰かを知るため」に学ぶ態度を育てる
- ・ 「自らと隣人を愛するためにこの世界の課題を発見する」力を養う
- ・ 「課題を解決する方策を探究してその解決策を考える」力を養う
- ・ 「課題を解決する方策を他者と協働して実行する」態度を養う

このビジョンは、BAIKO VISION for 2030 における以下の方針を土台としています。

- ・ 隣人愛を実践する人の育成
 - ・ 財政基盤強化に寄与する魅力ある教育機関の構築
 - ・ 教職員も共に成長する学びの共同体形成
-

3. School Policy(スクールポリシー)

◆ アドミッション・ポリシー(AP)

本校は以下のような資質・意欲を持つ生徒を歓迎します。

- ・ 「神から愛されること」「隣人を愛する」ことの素晴らしさを知りたい人
- ・ 自分の価値を知りたい人(=自分に価値があると発見したい人)

- 生きる意味を探したい人(=生きることで辛いことがある人)
 - 悩んでいる人(=解決したいと願っていることがある人)
 - 孤独な人(=自分を大切にしてほしい人)
 - 学び方を知りたい人(=何を、どうやって学んだら良いかわからない人)
-

◆ カリキュラム・ポリシー(CP)

- 大学に進学することに(も)対応したカリキュラム
 - 教え込むのではなく、生徒の学びを引き出し伸ばすカリキュラム
 - 表層的な事象の元にある本質的な物事のあり方を探究するカリキュラム
 - 生徒のより深い学びの機会を保证するカリキュラム(特に高等学校)
-

◆ グラデュエーション・ポリシー(GP)

- 隣人に仕える(他者のために力を発揮する)生き方を始めている(⇔自分か、自分が大事にしている人が第一で、そのためには他者を犠牲にしてもかまわない生き方をしている)
 - 多様な価値観を受け入れ、対話し、協働できる(⇔自分と異なる考え方を受け入れられず、他者と心を開いた対話や協働ができない)
 - 広く深い視野で、自らの人生や社会と向き合う力を持つ(⇔受け売りの価値観から脱することができず、自分の人生や社会の困難な状況に立ち向かうことをしないで悩んでいる)
 - 指標:実際に他者に仕えた事例がある・自分と考え方の違う人と協働して物事を進めて実績をあげたことがある・いくつかの異なるものの見方を列挙し、その中でその場に相応しい価値観を他者に説得的に提示することができた経験がある
-

4. Action Plan(アクションプラン)

アクション 1:学びの環境整備と可視化

- iPad 等 ICT 技術を用いた探究・創作・プレゼンテーション等の実際の活用例を校内外に年間 1 回以上で発信する機会を設ける
- 各授業・探究・行事において、ICT 活用で、できるようになったことを生徒と教員が振り返る時間を定期的に(最低各学期に 1 回)設ける
- Ai の活用が教員も生徒もできるように、全ての授業、探究、行事で実際に活用して、その活用事例を年間最低 1 回以上発表し合う。

- Ai、ICT を使うよりもより効果があると思える場面を考え、Ai、ICT 抜き(iPad やコンピュータが無い環境で行う)教育活動を行い、最低年間 1 回発表し合う。
-

アクション 2:生徒主体の文化の醸成

- 体育祭・文化祭・卒業礼拝・校則見直し等、生徒主体の学校運営を推進し、教員は支援者に徹する
 - 校則は生徒主導で毎年 9 月末までに見直し、校内での掲示・配布・説明機会を設けたうえで、Web 等で広く公開する
 - 面談・進路指導体制は既存の指名制を発展させ、教員間の情報共有体制を強化する
 - 教員が生徒の進路を強制せず、常に生徒の意思と挑戦を尊重し、励まし続ける関わりをもつ
-

アクション 3:柔軟で多様な学び・支援

- 高等学校普通科(GSS・SS コース)・音楽科のカリキュラム編成で選択的・柔軟な学びの保障を続ける(入学者選抜に関わるものだけでなく、プレゼンテーション演習やサービス・ラーニングなどのその先の学びで必要となる力を育む選択科目の設置)
- あらゆる学校内外での教育活動、すなわち授業、探究、課外活動、国内外の学びを通じて、生徒の進路選択の幅を拡充する(中学探究基礎、高Ⅰグループ探究、高Ⅱ大学等卒業研究プログラム、Wake-Up 全員留学準備・振り返り等)
- 進路指導は、生徒の意思を最重視し、進路変更も含めた柔軟な支援を行う
- 読書活動を学校全体で推進し、読書が自然な習慣となるよう、図書館の整備を含む、学校全体の環境を整備する
- 「座学」の授業は最小限にとどめ、探究・対話・体験重視の授業設計を進める

2025年 7 月 8 日(水) 中高執行部会